

京 都 市 立 小 学 校 (夕刊)

2006年(平)

京都通に
僕らも挑戦

児童3500人受験

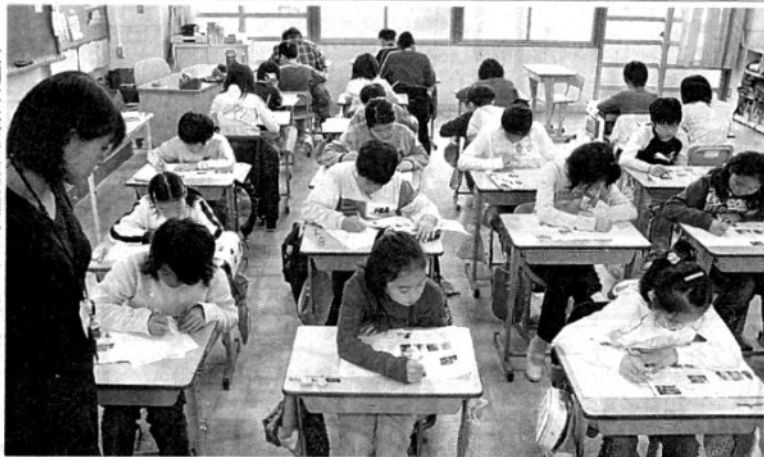
京都市教委などが進める「歴史都市・京都から学ぶジュニア日本文化検定」の第一回検定が二十日から始まり、児童たちが「京都通」目指して検定問題に取り組んだ。

検定は、京都の伝統文化や歴史に興味を持つ子を育てるのが狙い。難度別に「基礎」「発展」「名人」の三コースがあり、初回は「基礎」のみを実施。京都市立小の五、六年生約二万人は十一月末までに各校で受験し、二十五日には下京区の市総合教育センターで一般申込者約百五十人の検定が行われる。

初日は、三十二小學校で児童三千五百人が受験。下京区の洛央小では、五年生八十三人と六年生七十四人が歴史や産業など三千問の四択問題と、「京都に関すること」についての体験作文の課題に取り組んだ。検定を終えた六年松久流星君(二)は「毎日勉強したけど画像の名前などが難しかった」と話していた。

検定問題と正答は、十二月上旬に市教委のホームページで公開され、来年一月上旬に受験者に結果が通知される。同検定では、市民団体が「愛国心を強要する内

容で憲法違反」などとして訴訟を起こしている。



真剣な表情で検定問題に取り組む児童たち
(午前11時5分、京都市下京区・洛央小)